

縮小社会研究会

WG2（縮小社会の社会像と移行方法）,WG6（縮小社会の農業）の合同分科会報告

日：2014年8月9日（土）、13時－17時

所：会事務所

参加者 19名

台風下、東京、四国などから 19名が参加。

テーマ1. 中西香著『衰退する現代社会の危機』の第11章「縮小社会訪問記」（p.167-196）。これは、中西さんが、縮小の未来社会を想定して小説として書いたものです。中西氏を交えて、縮小社会の未来像に関して議論した。

テーマ2. アントニー F.F. ボーイズ 著「日本における農業とエネルギー －21世紀の食料事情を考える－」（2001）

http://www1.kamakuranet.ne.jp/oilpeak/pdf_files/tombo.pdf。

この論文は、日本の食糧、農業、エネルギーの未来を大局的に捕らえています。2001年に外国人によって書かれたという驚きと、日本人は何をしているのかという失望を感じました。この論文全体となると範囲が広いので、農業生産における投入エネルギーと産出エネルギーの関係および石油不足で懸念される事柄について、大谷正幸さんに解説していただいた。この資料【A.F.F.ボーイズ著『日本における農業とエネルギー －21世紀の食料事情を考える－』を読む、大谷正幸】を当研究会ホームページ <http://shukusho.org/> の「論説」欄に掲載。